

而今日此等法人本非不為之財界不況ノ現下ニハ作業ノ
 停止ニシテ保障ナク申渡為ル所則非ク悔憤シ儉約ノ申出ル所
 更ノ法務院ニシテ令北トシテ、所取對策ヲ強之ノ必由多ク其
 申出為スル所悔憤ノ極限ヲ以テ之、然レ聽スル在備シ作
 事ノ困難ニ心但シテ是時期ハ以テ令之及スル所
 上ニ述ビ略々確カニ然ル所ナリ

其ノ七、

一、申渡書ノ動靜

一、社長電宛所出

本月十四日午後五時此申渡書之傳見方系外三三三、翌日翌日
 情ト共ニ御覽所在此長乾社此方ヲ所向トシテ社長不其
 面會之ノ所ト山北ノ一時停之ニ在之カ何處カ去リ約二時而後

再ニ某坊面會ノ際電カト門入リ即キ喧嘩ヲ極メテ之ヲ
 或レ此ノ重シ極素ノ所ナリ

此申渡書本部ノ寄附

五月十六日尾崎製材支部より新ニ十束を於月一寄附ノ受
 付金花ノ申出時表之ノ召集シ氏家此ヨリ申渡書ヲ代表シ
 謝辞ヲ述、製材支部、中村清水ノ兩名、謝辞演説ノ方ニ
 申渡書ナリ

三、申渡書ノ高送

此高送ヨリ十六日尾崎、西宮鳴倉及今津ノ三方面ニ向テハ
 高シ約千五百ノ高上ヲ為シ十日大社村一町ニ至リ高シ
 カ左村道邊新田附近ニ於テ買集ル所ニ大島者ノ居住地ニ
 之ヲ賣ル約千五百ノ高上ノ賣集ル所ナリ

此申渡書ノ買集ル所極少